

# 地方独立行政法人堺市立病院機構 平成 29 年度計画

## 第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

### 1 市立病院として担うべき医療

#### (1) 救命救急センターを含む救急医療

- ・ 三次救急医療機関として重症患者の診療体制を一層強化させるために、院内各部署及び院外諸施設との連携強化を図る。
- ・ 救命救急病棟の上位施設基準を目指す。
- ・ 厚生労働省充実度評価については引き続き A を維持する。
- ・ 精神科合併救急患者のリエゾン介入を強化・充実する。
- ・ 転院及び退院に当たっては切れ目のない診療を継続させる。
- ・ 救命救急センター機能を活かした専門性の高い二次救急医療を提供する。
- ・ 消防局ワークステーションと連携し、ドクターカー運用など病院前医療体制の向上を目指す。

目標指標	27 年度実績	29 年度目標
救急搬送受入件数	8,584 件	9,000 件

関連指標	27 年度実績
重度外傷応需率	83.2%
重度疾病応需率	85.5%
ウォークイン件数	11,411 件

#### (2) 小児医療・周産期医療

- ・ 安定した周産期医療を提供するために、総合及び地域周産期母子医療センターと連携する。
- ・ 隣接する堺市こども急病診療センターや地域の医療機関と密接な連携を図り、堺市における 24 時間 365 日の小児二次救急体制の中心としての役割を担う。

目標指標	27年度実績	29年度目標
小児救急搬送受入件数※	1,385件	1,300件
小児救急紹介件数	408件	400件
分娩件数	364件	480件

※ 15歳未満人口の減少や堺市泉北急病診療センター小児科の廃止、他院の小児救急受入体制の整備等により、平成29年度目標は平成27年度実績より低く設定した

### (3) 感染症医療

- ・ 第一種及び第二種感染症指定医療機関として、新興感染症発生時に対応できるよう、専門スタッフを育成し危機管理体制を充実させる。
- ・ 関係医療機関とのカンファレンスを引き続き実施する。
- ・ 行政と連携して市全域における安全確保に向けた対応を行う。

### (4) 災害その他緊急時の医療

- ・ 災害拠点病院として地域の災害協力病院と連携し、災害対応のための訓練や研修を行う。
- ・ 医療救護体制の整備を行うとともに施設や設備についても検証する。
- ・ 災害派遣医療チーム(DMAT)として、引き続き訓練や研修会等へ積極的に参加する。さらに他の地域において大規模災害が発生した場合は、医療支援活動を行う。
- ・ 災害時事業継続計画に基づく各種訓練を実施するとともに、検証・見直しを進め、自ら行動できる職員を育成する。

関連指標	27年度実績
災害訓練回数	15回
うち院外訓練	11回

## 2 高度専門医療の提供

### (1) がんへの対応

- ・ 地域がん診療連携拠点病院として、がんセンターを中心に診断から治療、緩和ケアまで包括的ながん診療を行い、手術療法、放射線療法及び化学療法を組み合わせた集学的治療により質の高いがん医療を提供する。
- ・ 堺市がん診療連携ネットワーク協議会を通じて地域の医療機関と連携し、院外での講演会を開催し、がん予防対策等についての啓発運動を積極的に実施する。

- ・ 電話や面談でのがん相談を実施し、がん療養に伴う患者や家族の不安や疑問等についての支援を行う。また、適切な相談支援体制を確立するため、がん相談内容等のデータベース化を検討する。

目標指標	27年度実績	29年度目標
化学療法調製件数	7,625件	8,400件
放射線治療延件数	3,929件	6,500件
悪性腫瘍手術件数	1,051件	1,300件
がん登録件数※	1,438件	1,700件

※がん登録件数は1月～12月実績

関連指標	27年度実績
がんリハビリ実施件数	2,339件
がん相談件数	2,602件
緩和ケアチーム新規介入件数	270件
セカンドオピニオン対応件数	当院から他院 37件 他院から当院 39件

## (2) 脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病への対応

- ・ 脳卒中患者の救急診療を充実させるために、24時間365日のブレインオンコール体制を継続し、脳卒中センター化をとおして診療の強化を図る。
- ・ 急性心筋梗塞については、引き続き24時間365日のハートコール体制を継続するとともに、より重症度の高い患者の受け入れを行う。また、循環器疾患センターとして外科的治療が必要な心大血管疾患にも対応する。
- ・ 循環器疾患センターとして、心大血管手術120件、冠動脈インターベンション(PCI)300件を目標とする。
- ・ 糖尿病については、糖尿病センターを新設し、フットケア等の合併症予防、糖尿病教室や糖尿病公開講座等を開催し、総合的な糖尿病療養支援を実施する。
- ・ 糖尿病センターとして、糖尿病透析予防指導管理料400件、糖尿病教育入院200名を目標とする。

関連指標	27年度実績
脳卒中クリニカルパス実施件数	9件
t-P A治療の実施件数	6件

### (3) 高度専門医療の推進

- ・ ハイブリッド手術室、手術支援ロボット及び放射線治療装置等を活用し、低侵襲な高度医療を提供する。
- ・ 臓器別診療センターを充実させ、多職種チームによる安全で標準的な高度医療を提供する。
- ・ 臨床教育研究センターとして臨床試験・治験を含めた臨床研究を推進できる体制を整備し、治験の誘致活動を積極的に行う。

関連指標	27 年度実績
腹腔鏡（胸腔鏡）下手術件数	900 件
治験実施件数	9 件
先進医療届け出件数	6 件

## 3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供

### (1) 医療安全対策の徹底

- ・ 医療安全ラウンドを実施し、潜在的な事故要因に関する情報収集や分析を行い、事故の未然防止や再発防止に繋げる。また、医療安全文化の醸成に重要な役割を果たす各部署のリスクマネージャーを育成する。
- ・ 提出されたインシデント・アクシデントレポートの分析を行い、各部門別の対策について検討し改善を図る。
- ・ アウトブレイク防止の対応として部門に応じた感染対策の設定とマニュアルの見直しを行う。

関連指標	27 年度実績
医療安全研修実施件数	86 回
医療安全研修参加延人数	3,959 人

### (2) 医療の質の向上

- ・ 新たな診療センターの運用を検討し、多職種連携をさらに推進することで専門チームによる高度な医療を提供する。
- ・ 医療の質を継続的に測るとともに改善活動を促すため、QI（医療の質向上）委員会を設置する。また、既存のクリニカルインディケータについては見直しを行う。
- ・ 疾患毎の在院日数を全国の DPC データと比較しクリニカルパスを見直す。また、

クリニカルパスの遵守率を定期的に確認し完成度を上げる。

関連指標	27 年度実績
クリニカルパス適用率	44.9%
クリニカルパス数	211 件

### (3) 法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）

- ・ 医療従事者としてふさわしい倫理観と医療法など関係法令の遵守のため、病院の基本理念や法人の諸規定を周知するほか、コンプライアンスについての職員教育を実施する。
- ・ 業務の有効性及び効率性、財務報告の信頼性、事業活動に関わる法令遵守のため内部統制を強化する。

### (4) 患者の視点に立った医療の実践

- ・ 患者にとってわかりやすい説明文や同意書を用いてインフォームド・コンセントを徹底する。また、堺市立総合医療センターが掲げる「患者さんの権利に関する宣言」に則り、患者自身が納得して治療方針を適切に自己決定できるよう支援する。
- ・ 当院の新たなサービスや先進的な取り組みを市民及び患者に広く知ってもらうため、広報誌やホームページで積極的に情報を発信する。また、高齢者・障がい者を含む誰もが支障なく利用できるウェブサービスを構築する。

関連指標	27 年度実績
相談窓口寄せられた相談件数	18,374 件
接遇研修回数	13 回

### (5) 患者サービスの向上

- ・ 外来診療、検査、手術等の待ち時間の現状把握を行い、総合的な待ち時間に対する取り組みを一層推進し、病院施設・設備の利便性・快適性を追求する。また、投書箱に寄せられた意見については、院内掲示やホームページへ掲載するとともに、職員へ周知徹底し早急に改善を行う。
- ・ 花火鑑賞会やクリスマス会等各種イベントを継続して開催する。療養中でも楽しみと安らぎの空間を提供し療養環境の充実を図る。
- ・ ボランティアが院内での活動を積極的に行えるよう環境を整備する。また、委託業者と定期的なカンファレンスを開催し連携をとりながら住民・患者の目線

に立ったサービスを提供する。

目標指標	27年度実績	29年度目標
患者満足度調査結果 (満足の割合)	入院 84.0% 外来 85.0%	入院 87.0% 外来 85.0%

関連指標	27年度実績
投書箱に寄せられた件数	413件

#### 4 地域への貢献

##### (1) 地域の医療機関との連携推進

- ・ 地域医療支援病院としての役割を果たすため、紹介患者のスムーズな受け入れができるマニュアルを作成し紹介率及び逆紹介率の向上を図る。また、堺市及び堺市医師会と連携し病病・病診間の診療情報を相互共有できる地域医療連携ネットワーク協議会に参画する。
- ・ 医療相談や看護相談の早期介入をとおして、医療と介護の連携を強固にする。また、地域の医療機関や訪問看護ステーション、居宅事業所、介護施設等との多職種連携体制を構築し、後方支援病院の確保及び安心して在宅療養ができる環境の提供に協力する。

目標指標	27年度実績	29年度目標
紹介率	66.2%	70.0%
逆紹介率	72.3%	75.0%
地域の医療従事者への研修会実施回数	26回	29回

関連指標	27年度実績
地域連携クリニカルパス数	13件
地域連携パス適用患者数	155件
開放型病床利用率	57.7%

##### (2) 地域での医療従事者の育成

- ・ 初期研修における360度評価の充実、シミュレーション教育プログラムを開始し、医療者としての人格の涵養と臨床実践能力の向上を図るとともに、地域医療研修を堺市二次医療圏内の医療機関と連携して行い、地域に貢献できる医師を育てる。

- ・ 医学生をはじめ看護学生及び薬学部生等の実習を積極的に受け入れ、地域の医療従事者の育成を行うとともに学生に選ばれる質の高い実務実習を行う。
- ・ 新専門医制度の整備指針の見直しに伴う基幹プログラムの更新、連携プログラムの変更などに速やかに対応し後期研修医の支援体制を早期に確立する。

関連指標	27年度実績
医学生実習受入人数	44人
看護学生実習受入人数	315人
薬学部生実習受入人数	11人
研修医による学会発表件数	1.73件/人
指導医講習会受講済者数	10人

### (3) 医療、保健、福祉、教育などの行政全般等との連携と協力

- ・ 市が実施する特定健診や総合がん検診などの保健事業に協力する。また、広報誌やホームページにより保健事業の実施状況や市民公開講座の開催など積極的に地域へ情報を発信する。
- ・ 医療、保健、福祉、教育などの担当部局と協力しながら行政機関の協議会や委員会に参画し、医療や予防、健康増進に寄与する。

関連指標	27年度実績
市民公開講座の開催回数	27回
市民公開講座の参加延人数	1,370人

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

### 1 効率的・効果的な業務運営

#### (1) 自律性・機動性の高い組織づくり

- ・ 法人として運営が的確に行えるよう、会議体における議論の活性化を図り、組織の方針伝達や情報共有を進める。
- ・ 効率的・効果的な組織運営を行うとともに、的確な業務運営を行うため、会議体や委員会の体制を整備する。

#### (2) 質の高い経営

- ・ 診療報酬改定、次期保健医療計画及び地域医療構想等の病院を取り巻く環境の変化に迅速・柔軟に対応できる組織の核となる職員を育成するほか、業務に関

する専門知識の習得や資格取得を推奨し、病院運営の安定化や病院経営の継続性の確保のため人材育成の重点化を図る。

- ・ 主要部門会議や委員会等で検討された病院運営上の課題については適宜、病院運営会議で報告し改善などの方針決定や再検討の指示などスピーディーな審議を行う。
- ・ 予算の執行状況を定期的に報告するなど、適切な予算管理を行い法人の財務状況を随時確認し、収支改善に向けた取り組みを実施する。

### (3) 外部評価等の活用

- ・ 監事監査や会計監査人による監査及び内部監査を実施し、監査結果等を業務運営に反映するとともに患者や市民の目線に立った業務改善を行う。
- ・ 日本医療機能評価機構による「病院機能評価」を受審し、マニュアルの見直しや業務改善を行い、質の高い医療サービスを提供する。

## 2 やりがいを感じ、働きやすい病院づくり

### (1) 職員のキャリアアップにつながる人事・給与制度の整備

- ・ 人材育成基本方針に基づき階層別研修や内定者研修、入職者研修などを企画し、多職種で対話できるコミュニケーションを重視した参加型研修を実施する。
- ・ 職員満足度調査の結果を踏まえ、職員ニーズに対応した福利厚生や職員のモチベーションを維持し、より高めることができる仕組みを検討する。

### (2) 働きやすい職場環境の整備

- ・ 長時間夜勤や時間外勤務など勤務実態の分析、職場安全衛生委員会による職場巡視、労働衛生教育の実施等により、職員の健康管理と職場環境の整備を図る。
- ・ 職員相談窓口の積極的な周知と体制の強化を図る。また、必要に応じて院外相談機関の利用を勧める。

## 第3 財務内容の改善に関する事項

### 1 安定した経営基盤の早期確立

- ・ 事務部門においては、病院経営の専門知識等に優れた人材を重点的に育成し、組織として経営の専門性をより高める。診療報酬請求の精度向上にあたっては請求担当事務職員の技能向上を図る。



- ・ 安定した経営基盤を確立するため新入院患者の確保を行うとともに、効率的な病床運用を行い回転率の向上をより強化する。
- ・ 診療材料及び医薬品においては、市場調査に基づく価格交渉の継続実施や在庫管理の徹底、ジェネリック医薬品への切り替えをさらに推進する。また、経費については多様な契約手法を検討し、より一層の経費削減を進める。

目標指標	27年度実績	29年度目標
経常収支比率	87.3%	98.6%
一般病床利用率	85.1%	91.0%
平均在院日数	10.4日	10.2日
新入院患者数	13,058人	14,235人
手術件数	4,646件	5,500件
全身麻酔件数	2,565件	3,200件
後発医薬品採用率 (数量ベース)	70.1%	85.0%
入院延患者数	149,498人	159,505人
外来延患者数	191,221人	211,557人
窓口負担金の収納率	99.4%	99.4%

関連指標	27年度実績
患者1人1日当たり入院単価	65,418円
患者1人1日当たり外来単価	20,936円
給与費対診療収入比率	62.0%
材料費対診療収入比率	29.6%
経費対診療収入比率	20.6%

#### 第4 その他業務運営に関する重要事項

##### 1 環境にやさしい病院運営

- ・ 環境負荷の少ない機器や物品の購入を推進するとともにゴミ分別の徹底を図るほか、紙のリサイクルをはじめとする廃棄物の削減に努める。

関連指標	27年度実績
電気使用量	11,000,308kWh
ガス使用量	1,138,376 m <sup>3</sup>
水道使用量	157,270 m <sup>3</sup>

## 2 新病院の整備及び運営に関する取組

本項目については、平成 27 年 7 月に新病院への移転を終えたため計画完了。

## 第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

### （1）予算

（単位：百万円）

区分	平成 29 年度予算
収入	
営業収益	18,620
医業収益	16,495
運営費負担金	2,055
その他営業収益	70
営業外収益	338
運営費負担金	94
その他営業外収益	245
臨時利益	0
資本的収入	200
長期借入金	200
運営費負担金	0
その他資本収入	0
計	19,158
支出	
営業費用	17,006
医業費用	16,714
給与費	8,799
材料費	4,932
経費	2,885
研究研修費	97
一般管理費	292
営業外費用	194
臨時損失	0
資本的支出	1,957
建設改良費	200
償還金	1,754
その他投資	3
計	19,157

（注）計数は原則としてそれぞれの表示単位未満を四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。

## (2) 収支計画

(単位：百万円)

区分	平成 29 年度予算
収入の部	19,057
営業収益	18,733
医業収益	16,460
運営費負担金	2,055
資産見返負債戻入	149
その他営業収益	70
営業外収益	324
運営費負担金	94
その他営業外収益	230
臨時利益	0
支出の部	19,335
営業費用	18,606
医業費用	18,312
給与費	8,791
材料費	4,593
経費	2,695
研究研修費	91
減価償却費	2,141
一般管理費	295
営業外費用	729
臨時損失	0
経常損失	▲278
純損失	▲278
目的積立金取崩額	0
総利益	▲278

(注) 計数は原則としてそれぞれの表示単位未満を四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。

## (3) 資金計画

(単位：百万円)

区分	平成 29 年度予算
資金収入	20,894
業務活動による収入	18,958
診療業務による収入	16,495
運営費負担金による収入	2,148
その他業務活動による収入	315
投資活動による収入	0
運営費負担金による収入	0
その他投資活動による収入	0
財務活動による収入	200
長期借入による収入	200
その他財務活動による収入	0
前事業年度よりの繰越金	1,736
資金支出	20,894
業務活動による支出	17,203
給与費支出	9,070
材料費支出	4,932
その他業務活動による支出	3,201
投資活動による支出	200
固定資産の取得による支出	200
その他投資活動による支出	0
財務活動による支出	1,754
長期借入金等の返済による支出	1,754
その他財務活動による支出	0
翌事業年度への繰越金	1,737

(注) 計数は原則としてそれぞれの表示単位未満を四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。